



グループの管理

次の各トピックでは、グループの設定に関する概念とプロセスについて説明します。

- [Operations Manager のグループについて \(P.16-2\)](#)
- [Group Administration and Configuration の使用方法 \(P.16-10\)](#)

Operations Manager のグループについて

グループはオブジェクトで構成されます。ここで、オブジェクトとは、デバイス、アプリケーション、およびグループのことを指します。各グループにはプロパティ（名前、説明、権限など）のセットが割り当てられます。ただし、グループを定義するものは、そのグループに関連付けられているルールです。グループのメンバシップはルールにより決定されます。これは、ルールを評価するたびに変更してもかまいません。

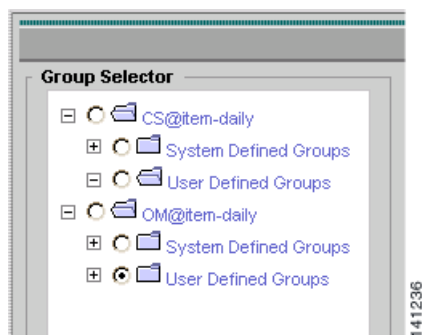
IP Communications Operations Manager は、サブグループ化をサポートする階層型でグループを管理します。それぞれの子グループは親グループのサブグループであり、そのグループメンバシップは直接の親グループのサブセットになります。オブジェクトがグループに属するためには、オブジェクトがそのグループのルールと親グループのルールに従っている必要があります。

Operations Manager の Group Selector に何が表示されるかは、使用している機能によって異なります。通常、Operations Manager の Group Selector を表示すると、[図 16-1](#) に示しているように、Operations Manager の下に表示されるグループも、Common Services の下に表示されるグループもあります。

- Common Services グループは、デバイスが DCR に追加されるときに Common Services によって作成される。これらはデバイスグループです。デバイスが属するグループは、Common Services グループのルールによって決まります。Common Services グループには、ルータ、スイッチ、ハブなどのオブジェクトが含まれます。Common Services グループはすべて、Operations Manager と共有されます。つまり、すべての Common Services グループが、Operations Manager のユーザーインターフェイスに表示されます。メンバを持つグループだけが表示されます。
- Operations Manager グループは、Operations Manager によって作成される。デバイスが属するグループは、Operations Manager グループのルールによって決まります。

[図 16-1](#) は、オブジェクトセレクタを示しています。ここでは、Common Services の下にも、Operations Manager の下にもグループがあります。

図 16-1 Common Services グループと Operations Manager グループを表示している Group Selector



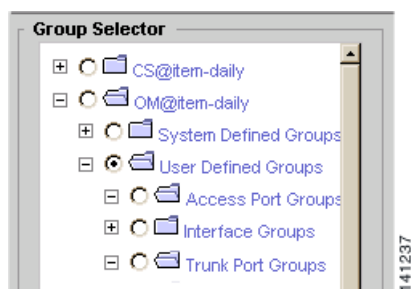
グループ	説明
CS@item-daily	Common Services によって制御されているグループ
OM@item-daily	Operations Manager によって制御されているグループ

[図 16-2](#) に示しているように、Operations Manager では、次のタイプのグループがサポートされています。

- システム定義グループ : CiscoWorks Common Services のデフォルトデバイスグループ。システム定義グループは、削除することも編集することもできません。各システム定義グループについては、[P.16-3](#) の「システム定義グループの使用」を参照してください。

- ユーザ定義グループ：ネットワークの管理方法を反映させるように編集または作成するグループ。Operations Manager のユーザ定義グループを編集または作成して、他の CiscoWorks ユーザがそのグループを表示できるかどうかを決めることができます。ユーザ定義グループには、次のグループが含まれます。
 - Access Port Groups：自分の目的に合わせて編集できる定義済みグループ。詳細については、P.16-9 の「ユーザ定義グループの使用」を参照してください。
 - Interface Groups：自分の目的に合わせて編集できる定義済みグループ。詳細については、P.16-9 の「ユーザ定義グループの使用」を参照してください。
 - Trunk Port Groups：自分の目的に合わせて編集できる定義済みグループ。詳細については、P.16-9 の「ユーザ定義グループの使用」を参照してください。
 - (モニタリング ダッシュボード画面のビューまたは通知サービスの通知グループで使用するために) 作成するグループ。「作成」できるグループは、これらのグループだけです。これらのグループは、Group Selector で User Defined Groups の下に表示されるため、グループメンバシップを確認できます (デバイスグループは、デバイスが Operations Manager イベントリに追加されるときに作成されます)。

図 16-2 Operations Manager グループを表示している Group Selector



グループと ACS

CiscoWorks Access Control Server (ACS) は、Group Administration を使用する多くの Operations Manager ユーザ インターフェイスに、デバイススペースのフィルタリングを提供します。ACS の詳細については、P.19-23 の「デバイススペース フィルタリング」を参照してください。

システム定義グループの使用

Group Selector で、Operations Manager の下に表示されるグループも、Common Services の下に表示されるグループもあります。Common Services グループは、デバイスが DCR に追加されるときに Common Services によって作成され、表示可能になります。詳細については、P.16-8 の「Common Services のシステム定義グループ」を参照してください。

Operations Manager グループは、Operations Manager によって作成されます。これらのグループには、Access Port Groups、Trunk Port Groups、Interface Groups が含まれます。Operations Manager のシステム定義グループのリストについては、表 16-1 を参照してください。

Administration > Polling and Thresholds を使用して、これらのグループのポーリングとしきい値の設定を制御できます。P.17-1 の「ポーリングとしきい値の設定」を参照してください。

Operations Manager のシステム定義グループ

Operations Manager のシステム定義グループは、すべての CiscoWorks ユーザに表示可能で、Operations Manager によって管理されるデフォルトグループです。

表 16-1 は、Operations Manager にあらかじめ設定されているシステム定義グループについて説明しています。

表 16-1 Operations Manager システム定義グループ

グループ名	定義	例
78XX Media Servers	シスコ音声アプリケーションを実行する、シスコによってサポートされている任意のハードウェアプラットフォーム。	次のアプリケーションを実行する Cisco Media Convergence Server <ul style="list-style-type: none"> • Cisco CallManager • Cisco Emergency Responder • Cisco Customer Response Application • Cisco Unity • Cisco Personal Assistant • (その他)
Access Port Groups <ul style="list-style-type: none"> • 1 GB Ethernet • 10MB-100MB Ethernet • ATM • Others 	ホストに接続されているスイッチポート。	任意のスイッチ
Cisco CallManager or Cluster 1 つの Cisco CallManager またはクラスタを Operations Manager に追加すると、Group Management によって、Cisco CallManager or Cluster フォルダの下に自動的にグループが作成されます。新しいグループ名は、先頭に VE が付きます (たとえば、VE-TEST1-CCM)。 新しいフォルダの下には、次のサブフォルダが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 78XX Media Servers • Digital Voice Gateways • Gatekeepers 	Cisco CallManager またはクラスタ。Cisco CallManager or Cluster グループには、対応する Cisco CallManager インスタンスまたはクラスタ インスタンスに関連付けられているすべてのデバイスが含まれます。	—
	クラスタ内の、Cisco CallManager を実行するすべてのメディアサーバ。	MCS 78XX ボックス
	Cisco CallManager またはクラスタに属している任意の DT-24+ デバイスまたは DE-30+ デバイス。	<ul style="list-style-type: none"> • DT-24+ • DE-30+
	Cisco CallManager またはクラスタが登録されているゲートキーパー。	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco 2600 • Cisco 3640 • Cisco 3660 • Cisco 7200 • (その他)

表 16-1 Operations Manager システム定義グループ (続き)

グループ名	定義	例
<ul style="list-style-type: none"> Voice Gateways 	Cisco CallManager またはクラスタへのゲートウェイとして機能するポート (インターフェイス) を持つ音声ゲートウェイ。	<ul style="list-style-type: none"> VG-200 Catalyst 6000 (T1 カード、E1 カード、または FXS カードを搭載)
<ul style="list-style-type: none"> Voice Mail Gateways 	Cisco CallManager またはクラスタに属している任意のボイスメールゲートウェイ。	<ul style="list-style-type: none"> DPA-7610 DPA-7639
Cisco IP Telephony Applications All Cisco IP Telephony Applications フォルダの下には、次のサブグループが表示されます。	デバイス上で動作する Cisco IP テレフォニーアプリケーション。	—
<ul style="list-style-type: none"> Cisco Call Managers 	メディアサーバ上で動作する任意の Cisco CallManager アプリケーション。	Cisco CallManager
<ul style="list-style-type: none"> Cisco Call Managers Express 	ルータ上で動作する任意の Cisco CallManager Express アプリケーション。	Cisco CallManager Express
<ul style="list-style-type: none"> Conference Server 	Cisco Conference Connection を実行するメディアサーバ。	Cisco Conference Connection
<ul style="list-style-type: none"> Customer Response Applications 	メディアサーバ上で動作する任意の Cisco Customer Response Application (CRA)。	Cisco CRA
<ul style="list-style-type: none"> Emergency Responders 	メディアサーバ上で動作する任意の Cisco Emergency Responder。	Cisco Emergency Responder
<ul style="list-style-type: none"> IP Contact Center 	メディアサーバ上で動作する任意の Cisco IP Contact Center (IPCC)。	Cisco IPCC
<ul style="list-style-type: none"> Personal Assistants 	メディアサーバ上で動作する任意の Cisco Personal Assistant (PA)。	Cisco PA
<ul style="list-style-type: none"> Unity 	メディアサーバ上で動作する任意の Cisco Unity アプリケーション。	Cisco Unity
<ul style="list-style-type: none"> Unity Express 	メディアサーバ上で動作する任意の Cisco Unity Express アプリケーション。	Cisco Unity Express

表 16-1 Operations Manager システム定義グループ (続き)

グループ名	定義	例
Voice Gateways	音声対応の (音声カードまたは音声ポートを搭載し、IP テレフォニーの動作を支援する機能を持つ) 任意のシスコ スイッチまたはシスコ ルータ。	<p>BRI、E&M、FXS、FXO、T1、または E1 のいずれかのポートを搭載したスイッチまたはルータ、あるいはゲートキーパー機能を持つルータ</p> <p>次の例を参考にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco 1700 • Cisco 2600 • Cisco 3600 • Cisco 5300 • Cisco 5400 • Cisco 5800 • Cisco 7200 • Cisco 7500 • Cisco VG-200 • Cisco VG-248 • Catalyst 6000 • Catalyst 4000 • Catalyst 3500 • Catalyst 2900 • (その他)
H323 Gateways	音声ポートを搭載し、H323 ゲートウェイとして設定されている、スイッチ モジュールまたはルータ。	<ul style="list-style-type: none"> • Access Gateway Module を搭載した Catalyst 4000 • Cisco 1700 • Cisco 2600 • Cisco 2800 • Cisco 3600 • Cisco 3700 • Cisco 3800 • (その他)
MGCP Gateways	音声ポートを搭載し、MGCP ゲートウェイとして設定されている、スイッチ モジュールまたはルータ。	<ul style="list-style-type: none"> • T1/E1/FXS ポートを搭載した Catalyst 6000 • Cisco 1700 • Cisco 2600 • Cisco 2800 • Cisco 3600 • Cisco 3700 • Cisco 3800 • (その他)
Voice Mail Gateways	IP テレフォニー ボイスメール システムをレガシー ボイスメール システムに接続する任意のデバイス。	<ul style="list-style-type: none"> • DPA-7610 • DPA-7639

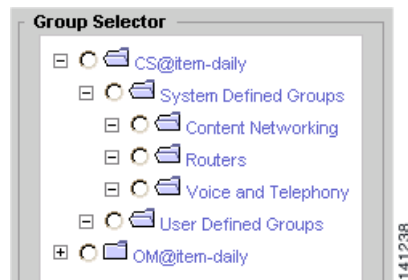
表 16-1 Operations Manager システム定義グループ (続き)

グループ名	定義	例
Digital Voice Gateways	任意の DT-24+ デバイスまたは DE-30+ デバイス。	<ul style="list-style-type: none"> DT-24+ DE-30+
Switches with Phones Connected	Cisco IP Phone が (スイッチ上のポートを介して) 接続されているシスコ スイッチ。	<ul style="list-style-type: none"> Catalyst 6000 Catalyst 3500 XL Catalyst 4000 Catalyst 2900 Catalyst 2950 XL
Gatekeepers	H323 デバイス (H323 ゲートウェイや Cisco CallManager クラスタ間トランクなど) にアドレス変換、帯域幅制御、およびアクセス制御を提供するゲートキーパー。	<ul style="list-style-type: none"> Cisco 2600 Cisco 3640 Cisco 3660 Cisco 7200 (その他)
IP SLA Devices	Cisco IOS IP SLA (IP SLA) を実行するシスコ デバイス。	IP SLA 対応デバイス
Interface Groups <ul style="list-style-type: none"> 1 GB Ethernet 10MB-100MB Ethernet ATM Backup Dial-On-Demand FDDI ISDN B channel ISDN D channel ISDN physical interface Others Serial Token ring 	ネットワークへの論理 (通常はレイヤ 2) 接続を示すデバイス。	任意のホスト、ハブ、ルータ、またはスイッチ
SRST Devices	Survivable Remote Site Telephony (SRST) 用に設定されているデバイス。	SRST 対応ルータ
Phones with tests configured	テスト用に設定されている Cisco IP Phone。	<ul style="list-style-type: none"> 7910 7935 7960 12SP 30VIP
Trunk Port Groups <ul style="list-style-type: none"> 1 GB Ethernet 10MB-100MB Ethernet ATM Others 	スイッチ、ハブ、またはブリッジに接続されているスイッチ ポート。	任意のスイッチ、ハブ、またはブリッジ

Common Services のシステム定義グループ

Common Services のシステム定義グループ（図 16-3 を参照）は、すべての CiscoWorks ユーザに表示可能で、Common Services によって管理されるデフォルトグループです。グループがデバイスメンバ（そのグループに属している、DCR 内のデバイス）を持つ場合にだけ、Group Selector にそのグループが表示されるため、図 16-3 では、すべてのシステム定義グループが表示されているわけではありません。

図 16-3 Common Services のシステム定義グループを表示している Group Selector



Common Services のシステム定義グループは、次のとおりです。

- Broadband Cable
- Content Networking
- DSL and LRE
- Interfaces and Modules
- Network Management
- Optical
- Routers
- Security and VPN
- Storage Networking
- Switches and Hubs
- Universal Gateways and Access Servers
- Unknown
- Voice and Telephony
- Wireless

Common Services のシステム定義グループの詳細については、Common Services のオンラインヘルプを参照してください。

ユーザ定義グループの使用

システム定義グループのルールは、変更できません。そのため、Operations Manager では、関心のあるデバイス、ポート、またはインターフェイスを含むことができるユーザ定義グループが提供されます。ポートとインターフェイスのコンテナは Polling and Thresholds だけで表示され使用されませんが (P.17-1 の「ポーリングとしきい値の設定」を参照)、デバイスが Operations Manager インベントリに追加されるときに、デバイス グループにメンバが追加されます。グループを編集または作成するときに、他の CiscoWorks ユーザがそのグループを表示できるかどうかを決めることができます。

ユーザ定義グループは、モニタリング ダッシュボードに表示されるビュー (Service Level View、Alerts and Events、Phone Activities、および Service Quality Alerts) の基礎となります。作成するユーザ定義グループごとに、対応するビューが自動的に作成されます。ユーザ定義グループの作成については、P.16-11 の「グループの作成と編集」を参照してください。

デフォルトでは、定義済みのユーザ定義グループにはデバイスが属していません。Access Port、Interface、および Trunk Port の各フォルダに作成されたグループのメンバシップの詳細を表示するには、Polling and Thresholds ページに移動する必要があります (P.17-1 の「ポーリングとしきい値の設定」を参照してください)。

表 16-2 は、定義済みのユーザ定義グループについて説明しています。

表 16-2 Operations Manager ユーザ定義グループ

グループ名	このグループを使用して監視する対象	このグループに設定できる設定値
Access Port Groups	アクセス ポート	しきい値
Interface Groups	インターフェイス	しきい値
Trunk Ports Groups	トランク ポート	しきい値

Group Administration and Configuration の使用方法

Group Administration and Configuration ページで、すべてのグループ管理アクティビティを実行します。Group Administration and Configuration ページを開くには、**Devices > Device Groups** を選択します。

次の各トピックでは、Group Administration and Configuration ページの使用方法について説明します。

- グループの作成と編集 (P.16-11)
- グループの詳細の表示 (P.16-28)
- メンバシップの詳細の表示 (P.16-30)
- メンバシップのリフレッシュ (P.16-31)
- グループの削除 (P.16-31)

図 16-4 は、Group Administration and Configuration ページの例を示しています。

図 16-4 Group Administration and Configuration ページ

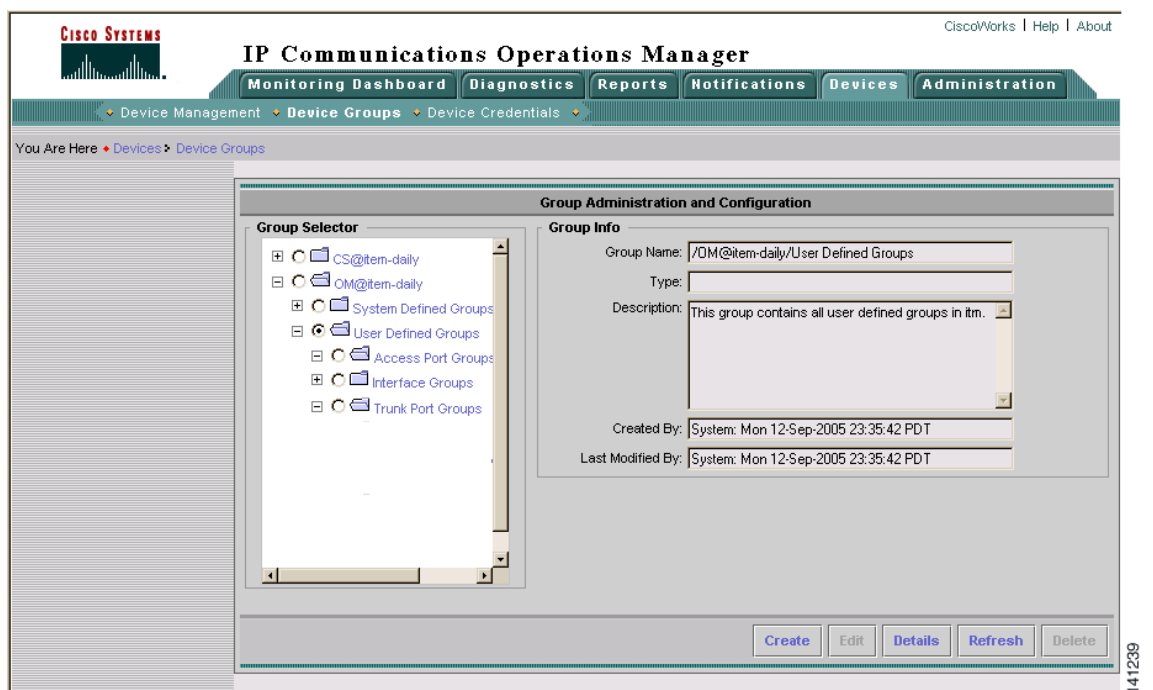


表 16-3 は、Group Administration and Configuration ページのフィールドについて説明しています。

表 16-3 Group Administration and Configuration ページのフィールド

フィールド / ボタン	説明
Group Selector	使用可能なすべてのグループの階層表示。
Group Info	Group Selector から項目を選択すると、Group Info ペインに次の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> Group Name : 選択したグループの名前。 Type : 選択したグループ内のオブジェクトのタイプ。 Description : グループのテキスト説明。 Created By : グループの作成者。 Last Modified By : グループ設定を最後に編集した人。
Create	グループを作成するための Group Creation Wizard を起動します (P.16-12 の「グループの作成」を参照してください)。
Edit	既存のグループを編集するための Group Edit Wizard を起動します (P.16-18 の「グループのプロパティの編集」を参照してください)。
Details	Properties: Details ページを開きます (P.16-28 の「グループの詳細の表示」を参照してください)。
Refresh	グループのメンバシップをリフレッシュします (P.16-31 の「メンバシップのリフレッシュ」を参照してください)。
Delete	グループを削除します (P.16-31 の「グループの削除」を参照してください)。

グループの作成と編集

グループの作成プロセスと編集プロセスは似ています。

次の点に注意してください。

- 定義済みのユーザ定義グループ フォルダ (Access Port Groups、Interface Groups、および Trunk Port Groups) に対しては、「編集」だけを行うことができます。つまり、これらのフォルダをデバイス セレクタから削除することはできません。これらのフォルダの下にユーザ定義グループを作成した場合は、作成したグループを編集または削除できます (P.16-15 の「アクセス ポートグループ、インターフェイスグループ、またはトランク ポートグループの作成」および P.16-20 の「アクセス ポートグループ、インターフェイスグループ、またはトランク ポートグループの編集」を参照してください)。
- 他のユーザ定義グループはすべて「作成または編集」できる (たとえば、モニタリング ダッシュボード画面のビューや通知サービスの通知グループで使用するため)。たとえば、Operations Manager の Group Selector で Operations Manager の User Defined Groups の直下に表示される test という名前のグループを作成できます (P.16-12 の「グループの作成」および P.16-18 の「グループのプロパティの編集」を参照してください)。

Operations Manager は、Group Creation Wizard を使用して、グループの作成または編集に必要な手順を案内します。ウィザードの手順は、何を作成するかによって異なります。たとえば、テンプレートを作成する手順 (P.16-17 の「グループの作成：テンプレートの使用」および P.16-22 の「グループのプロパティの編集：テンプレートを使用するグループの場合」を参照) は、ユーザ定義グループを作成する手順とは異なります。さらに、アクセス ポートグループ、インターフェイスグループ、またはトランク ポートグループを作成する場合も、ウィザードの手順は異なります。

ユーザ定義グループを作成するために、ウィザードは次の 4 つの手順で構成されています。

- プロパティを設定する (詳細については、P.16-12 の「グループの作成」および P.16-18 の「グループのプロパティの編集」を参照してください)。
- ルールを作成する (詳細については、P.16-23 の「ルールについて」を参照してください)。

3. グループ メンバシップを編集する（詳細については、P.16-27 の「グループ メンバシップの確定」を参照してください）。
4. 要約を表示する（詳細については、P.16-28 の「グループの要約の表示」を参照してください）。



(注) Operations Manager には、ユーザ定義グループを簡単に作成するためのテンプレートが用意されています。用意されている 4 つのテンプレートは、次のものに基づいています。

- 場所
- 名前
- サブネット
- サービス

テンプレートを使用してグループを作成する方法については、P.16-17 の「グループの作成：テンプレートの使用」を参照してください。

グループの作成

ステップ 1 **Devices > Device Groups** を選択します。Group Administration and Configuration ページが表示されます。

ステップ 2 Group Selector で、新しいグループが属する親グループを選択します。



(注) User Defined Groups フォルダまたは任意のサブフォルダを選択する必要があります。ユーザ定義グループを追加できるのは、User Defined Groups フォルダだけです。

ステップ 3 **Create** をクリックします。Properties: Create ページが表示されます。図 16-5 は、Properties: Create ページの例を示しています。

図 16-5 Properties: Create ページ

141240

ステップ 4 Select Group Type フィールドで、Rule オプション ボタンを選択します。

ステップ 5 新しいグループのグループ名を入力します。

ステップ 6 既存のグループの属性を新しいグループにコピーしない場合は、[ステップ 7](#) に進みます。既存のグループの属性を新しいグループにコピーする場合は、次の手順に従います。



(注) グループ名を除くすべての属性が新しいグループにコピーされます。

- a. **Select Group** をクリックします。Replicate Attributes ページが表示されます。
- b. 属性をコピーするグループを選択します。
- c. **OK** をクリックします。

ステップ 7 親グループ (Group Selector でグループが存在する場所) を変更する場合は、次の手順に従います。

- a. **Change Parent** をクリックします。Select Parent ページが表示されます。
- b. 親グループを選択します。
- c. **OK** をクリックします。

ステップ 8 (オプション) 説明を入力します。

ステップ 9 グループ メンバシップのアップデート方法を選択します (ポート グループおよびインターフェイス グループの場合、この選択肢は表示されません)。

- このグループのメンバシップを自動的にアップデートする場合は、**Automatic** を選択します。
- **Refresh** ボタンをクリックした場合にだけこのグループのメンバシップをアップデートする場合は、**Only Upon User Request** を選択します。

ステップ 10 可視性スコープを選択します。

- **Private** : 作成したユーザだけが使用可能
- **Public** : すべての CiscoWorks ユーザが使用可能

ステップ 11 **Next** をクリックします。Rules: Create ページが表示されます (ルール作成の詳細については、[P.16-23](#) の「ルールについて」を参照してください)。

次のどちらかを実行します。

- グループに適用するルールを作成する場合は、[ステップ 12](#) に進みます。
- デバイスを追加するだけの場合は、**Next** をクリックし、Membership: Create ページでデバイスを選択します。次に、[ステップ 13](#) に進みます。



(注) ウィザードで前のページに戻る必要がある場合は、**Back** をクリックします。

ステップ 12 グループに適用するすべてのルールを作成します。

- a. 最初のリストで、論理演算子を選択します。



(注) 論理演算子のリストは、少なくとも 1 つのルール式を入力した後でイネーブルになります。

- b. オブジェクト タイプを選択します。
 c. 変数を選択します。
 d. 演算子を選択します。
 e. Value フィールドに値を入力します。
 f. **Add Rule Expression** をクリックします。ルール式が Rule Text ボックスに表示されます。



(注) Rule Text ボックス内のテキストは、手動で追加または変更できます。単一のバックスラッシュ (\) を入力すると、エラーが表示されます。Rule Text ボックスに単一のバックスラッシュを入力するには、単一のバックスラッシュの代わりに、バックスラッシュを 2 つ (\\) 入力する必要があります。ルール式を変更した後は、必ず構文を確認してください。

- g. 複雑なルール (AND 条件と OR 条件の両方を含むルール) を追加した場合、次の例に示すように、手動でカッコを入力する必要があります。

```
(:AccessPort.Mode equals "" OR
:AccessPort.Mode contains "BACKUP" OR
:AccessPort.Mode contains "NORMAL") AND
(:AccessPort.DuplexMode contains "HALFDUPLEX" OR
:AccessPort.DuplexMode contains "FULLDUPLEX")
```

- h. ルールの構文が正しいかどうかを確認するには、**Check Syntax** をクリックします。構文が有効なことを示すダイアログボックスが表示されます。**OK** をクリックします。
 i. 親グループに対するルールを表示するには、**View Parent Rules** を選択します。



(注) 親グループに割り当てられたルールは、すべてそのサブグループにも適用されます。

- j. **Next** をクリックします。Membership: Create ページが表示されます。

ステップ 13 グループ メンバシップに対して特定のオブジェクトを追加または削除できます (ポート グループおよびインターフェイス グループではサポートされていません)。



(注) グループのルールは、グループに対して追加または削除されるオブジェクトのリストをキャプチャします。これを反映するために、ルールには **Includelist** または **Excludelist** セクション (あるいはこの両方) が組み込まれます。

1 つのルールに複数の **Includelist** または **Excludelist** を設定することは可能ですが、1 つの **Includelist** と 1 つの **Excludelist** で構成されるようにまとめることをお勧めします。両方のリストに含まれる重複がないかどうかを確認し、組み込みと除外の両方に記載されるデバイスがないことを確認します。



(注) 一部の IPSLA デバイスは、作成されたグループに属していても、Objects Matching Membership カラムに自動で表示されません。こうしたデバイスを Membership: Create ページの Objects from Parent Group カラムから Objects Matching Membership カラムに手動で移動する必要があります。

オブジェクトを追加するには、次の手順に従います。

- a. Objects from Parent Group カラムで、追加するデバイスを選択します。
- b. **Add** をクリックします。

オブジェクトを削除するには、次の手順に従います。

- a. Objects Matching Membership カラムで、削除するデバイスを選択します。
- b. **Remove** をクリックします。

ステップ 14 **Next** をクリックします。グループの情報が Summary: Create ページに表示されます。

ステップ 15 **Finish** をクリックします。

アクセス ポート グループ、インターフェイス グループ、またはトランク ポート グループの作成

ステップ 1 **Devices > Device Groups** を選択します。Group Administration and Configuration ページが表示されます。

ステップ 2 Group Selector で、新しいグループが属する親グループを選択します。



(注) Access Port Groups、Interface Groups、または Trunk Port Groups のいずれかのフォルダを選択する必要があります。

ステップ 3 **Create** をクリックします。Properties: Create ページが表示されます。

ステップ 4 新しいグループのグループ名を入力します。

ステップ 5 既存のグループのアトリビュートを新しいグループにコピーしない場合は、[ステップ 7](#) に進みます。既存のグループのアトリビュートを新しいグループにコピーする場合は、次の手順に従います。



(注) グループ名を除くすべてのアトリビュートが新しいグループにコピーされます。

- a. **Select Group** をクリックします。Replicate Attributes ページが表示されます。
- b. アトリビュートをコピーするグループを選択します。
- c. **OK** をクリックします。

ステップ 6 親グループ（Group Selector でグループが存在する場所）を変更する場合は、次の手順に従います。

- a. **Change Parent** をクリックします。Select Parent ページが表示されます。
- b. 親グループを選択します。
- c. **OK** をクリックします。

ステップ 7 （オプション）説明を入力します。

ステップ 8 可視性スコープを選択します。

- Private : 作成したユーザだけが使用可能
- Public : すべての CiscoWorks ユーザが使用可能

ステップ 9 **Next** をクリックします。Rules: Create ページが表示されます（ルール作成の詳細については、P.16-23 の「ルールについて」を参照してください）。



(注) ウィザードで前のページに戻る必要がある場合は、**Back** をクリックします。

ステップ 10 グループに適用するすべてのルールを作成します。

- a. 最初のリストで、論理演算子を選択します。



(注) 論理演算子のリストは、少なくとも 1 つのルール式を入力した後でイネーブルになります。

- b. オブジェクトタイプを選択します。
- c. 変数を選択します。
- d. 演算子を選択します。
- e. Value フィールドに値を入力します。
- f. **Add Rule Expression** をクリックします。ルール式が Rule Text ボックスに表示されます。



(注) Rule Text ボックス内のテキストは、手動で追加または変更できます。単一のバックスラッシュ (\) を入力すると、エラーが表示されます。Rule Text ボックスに単一のバックスラッシュを入力するには、単一のバックスラッシュの代わりに、バックスラッシュを 2 つ (\\) 入力する必要があります。ルール式を変更した後は、必ず構文を確認してください。

- g. 複雑なルール（AND 条件と OR 条件の両方を含むルール）を追加した場合、次の例に示すように、手動でカッコを入力する必要があります。

```
(:AccessPort.Mode equals "" OR
:AccessPort.Mode contains "BACKUP" OR
:AccessPort.Mode contains "NORMAL") AND
(:AccessPort.DuplexMode contains "HALFDUPLEX" OR
:AccessPort.DuplexMode contains "FULLDUPLEX")
```


- h. ルールの構文が正しいかどうかを確認するには、**Check Syntax** をクリックします。構文が有効なことを示すダイアログボックスが表示されます。**OK** をクリックします。
- i. 親グループに対するルールを表示するには、**View Parent Rules** を選択します。



(注) 親グループに割り当てられたルールは、すべてそのサブグループにも適用されます。

- j. **Next** をクリックします。グループの情報が **Summary: Create** ページに表示されます。

ステップ 11 **Finish** をクリックします。

グループの作成：テンプレートの使用

ステップ 1 **Devices > Device Groups** を選択します。Group Administration and Configuration ページが表示されます。

ステップ 2 Group Selector で、新しいグループが属する親グループを選択します。



(注) User Defined Groups フォルダまたは任意のサブフォルダを選択する必要があります。ユーザー定義グループを追加できるのは、User Defined Groups フォルダだけです。

ステップ 3 **Create** をクリックします。Properties: Create ページが表示されます。

ステップ 4 Select Group Type フィールドで、**Template オプション ボタン**を選択します。

ステップ 5 新しいグループのグループ名を入力します。

ステップ 6 親グループ (Group Selector でグループが存在する場所) を変更する場合は、次の手順に従います。

- a. **Change Parent** をクリックします。Select Parent ページが表示されます。
- b. 親グループを選択します。
- c. **OK** をクリックします。

ステップ 7 (オプション) 説明を入力します。

ステップ 8 グループ メンバシップのアップデート方法を選択します (ポート グループおよびインターフェイスグループの場合、この選択肢は表示されません)。

- このグループのメンバシップを自動的にアップデートする場合は、**Automatic** を選択します。
- **Refresh** ボタンをクリックした場合にだけこのグループのメンバシップをアップデートする場合は、**Only Upon User Request** を選択します。

ステップ 9 可視性スコープを選択します。

- Private : 作成したユーザだけが使用可能
- Public : すべての CiscoWorks ユーザが使用可能

ステップ 10 **Next** をクリックします。Templates: Create ページが表示されます。

ステップ 11 Template Name フィールドで、グループ選択のベースとするテンプレートを選択します。

ステップ 12 (オプション) 説明を入力します。

ステップ 13 List of Values フィールドに、フィルタリングに使用する値を入力します。たとえば、名前ベースのテンプレートを選択した場合は、デバイス名のリストを入力できます。

ステップ 14 **Next** をクリックします。Membership: Create ページが表示されます。グループのメンバを表示できますが、変更することはできません。

ステップ 15 **Next** をクリックします。グループの情報が Summary: Create ページに表示されます。

ステップ 16 **Finish** をクリックします。

グループのプロパティの編集

ステップ 1 **Devices > Device Groups** を選択します。Group Administration and Configuration ページが表示されます。

ステップ 2 Group Selector で編集するグループを選択します。

ステップ 3 **Edit** をクリックします。Properties: Edit ページが表示されます。

ステップ 4 Properties: Edit ページで次の項目を編集できます。

- Group Name
- Description
- Membership Update タイプ (ポート グループおよびインターフェイス グループではサポートされない)
- Visibility Scope



(注) 親グループは表示されますが、編集できません。

ステップ 5 **Next** をクリックします。Rules: Edit ページが表示されます。ルール作成の詳細については、P.16-23 の「ルールについて」を参照してください。



(注) ウィザードで前のページに戻る必要がある場合は、**Back** をクリックします。

ステップ 6 Rules: Edit ページでは、新しいルールを追加したり、既存のルールを削除できます。

新しいルールを追加するには、次の手順に従います。

- a. 最初のリストで、論理演算子を選択します。



(注) 論理演算子のリストは、少なくとも 1 つのルール式を入力した後でイネーブルになります。

- b. Object Type リストからオブジェクトタイプを選択します。
 c. Variable リストから変数を選択します。
 d. Operator リストから演算子を選択します。
 e. Value フィールドに値を入力します。
 f. **Add Rule Expression** をクリックします。ルール式が Rule Text ボックスに表示されます。



(注) Rule Text ボックス内のテキストは、手動で追加または変更できます。単一のバックスラッシュ (\) を入力すると、エラーが表示されます。Rule Text ボックスに単一のバックスラッシュを入力するには、単一のバックスラッシュの代わりに、バックスラッシュを 2 つ (\\) 入力する必要があります。ルール式を変更した後は、必ず構文を確認してください。

- g. 複雑なルール (AND 条件と OR 条件の両方を含むルール) を追加した場合、次の例に示すように、手動でカッコを入力する必要があります。

```
(:AccessPort.Mode equals "" OR
:AccessPort.Mode contains "BACKUP" OR
:AccessPort.Mode contains "NORMAL") AND
(:AccessPort.DuplexMode contains "HALFDUPLEX" OR
:AccessPort.DuplexMode contains "FULLDUPLEX")
```

- h. ルールの構文が正しいかどうかを確認するには、**Check Syntax** をクリックします。構文が有効なことを示すダイアログボックスが表示されます。**OK** をクリックします。
 i. 親グループに対するルールを表示するには、**View Parent Rules** を選択します。



(注) 親グループに割り当てられたルールは、すべてそのサブグループにも適用されます。

- j. **Next** をクリックします。Membership: Edit ページが表示されます。

ルールを削除するには、次の手順に従います。

- a. Rule Text ボックスでルールテキスト全体を選択して **Delete** キーを押します。

ルールを削除したら、論理演算子のリストを削除してページをリフレッシュできるように、ページをクリックする必要があります。

- b. **Next** をクリックします。Membership: Edit ページが表示されます。

ステップ 7 グループ メンバシップに対して特定のオブジェクトを追加または削除できます（ポート グループおよびインターフェイス グループではサポートされていません）。



(注) グループのルールは、グループに対して追加または削除されるオブジェクトのリストをキャプチャします。これを反映するために、ルールには Includelist または Excludelist セクション（あるいはこの両方）が組み込まれます。

1 つのルールに複数の Includelist または Excludelist を設定することは可能ですが、1 つの Includelist と 1 つの Excludelist で構成されるようにまとめることをお勧めします。両方のリストに含まれる重複がないかどうかを確認し、組み込みと除外の両方に記載されるデバイスがないことを確認します。



(注) 一部の IPSLA デバイスは、作成されたグループに属していても、Objects Matching Membership カラムに自動で表示されません。こうしたデバイスを Membership: Create ページの Objects from Parent Group カラムから Objects Matching Membership カラムに手動で移動する必要があります。

オブジェクトを追加するには、次の手順に従います。

- a. Available Objects from Parent Group カラムで、追加するデバイスを選択します。
- b. **Add** をクリックします。

オブジェクトを削除するには、次の手順に従います。

- a. Objects Matching Membership Criteria カラムで、削除するデバイスを選択します。
- b. **Remove** をクリックします。

ステップ 8 **Next** をクリックします。グループの情報が Summary: Edit ページに表示されます。

ステップ 9 **Finish** をクリックします。

アクセス ポート グループ、インターフェイス グループ、またはトランク ポート グループの編集

ステップ 1 **Devices > Device Groups** を選択します。Group Administration and Configuration ページが表示されます。

ステップ 2 Group Selector で、編集するアクセス ポート グループ、インターフェイス グループ、またはトランク ポート グループを選択します。

ステップ 3 **Edit** をクリックします。Properties: Edit ページが表示されます。

ステップ 4 Properties: Edit ページで次の項目を編集できます。

- Description
- Visibility Scope

ステップ 5 **Next** をクリックします。Rules: Edit ページが表示されます。(ルール作成の詳細については、P.16-23 の「ルールについて」を参照してください。)



(注) ウィザードで前のページに戻る必要がある場合は、**Back** をクリックします。

ステップ 6 Rules: Edit ページでは、新しいルールを追加したり、既存のルールを削除できます。

新しいルールを追加するには、次の手順に従います。

a. 最初のリストで、論理演算子を選択します。



(注) 論理演算子のリストは、少なくとも 1 つのルール式を入力した後にイネーブルになります。

b. Object Type リストからオブジェクトタイプを選択します。

c. Variable リストから変数を選択します。

d. Operator リストから演算子を選択します。

e. Value フィールドに値を入力します。

f. **Add Rule Expression** をクリックします。ルール式が Rule Text ボックスに表示されます。



(注) Rule Text ボックス内のテキストは、手動で追加または変更できます。単一のバックスラッシュ (\) を入力すると、エラーが表示されます。Rule Text ボックスに単一のバックスラッシュを入力するには、単一のバックスラッシュの代わりに、バックスラッシュを 2 つ (\\) 入力する必要があります。ルール式を変更した後は、必ず構文を確認してください。

g. 複雑なルール (AND 条件と OR 条件の両方を含むルール) を追加した場合、次の例に示すように、手動でカッコを入力する必要があります。

```
(:AccessPort.Mode equals "" OR  
:AccessPort.Mode contains "BACKUP" OR  
:AccessPort.Mode contains "NORMAL") AND  
(:AccessPort.DuplexMode contains "HALFDUPLEX" OR  
:AccessPort.DuplexMode contains "FULLDUPLEX")
```

h. ルールの構文が正しいかどうかを確認するには、**Check Syntax** をクリックします。構文が有効なことを示すダイアログボックスが表示されます。**OK** をクリックします。

i. 親グループに対するルールを表示するには、**View Parent Rules** を選択します。



(注) 親グループに割り当てられたルールは、すべてそのサブグループにも適用されます。

j. **Next** をクリックします。Membership: Edit ページが表示されます。

ルールを削除するには、次の手順に従います。

- a. Rule Text ボックスでルールテキスト全体を選択して **Delete** キーを押します。
ルールを削除したら、論理演算子のリストを削除してページをリフレッシュできるように、ページをクリックする必要があります。
- b. **Next** をクリックします。グループの情報が Summary: Edit ページに表示されます。

ステップ 7 **Finish** をクリックします。

グループのプロパティの編集：テンプレートを使用するグループの場合

ステップ 1 **Devices > Device Groups** を選択します。Group Administration and Configuration ページが表示されます。

ステップ 2 Group Selector で編集するグループを選択します。

ステップ 3 **Edit** をクリックします。Properties: Edit ページが表示されます。

ステップ 4 Properties: Edit ページで次の項目を編集できます。

- Group Name
- Description
- Membership Update タイプ（ポート グループおよびインターフェイス グループではサポートされない）
- Visibility Scope



(注) 親グループは表示されますが、編集できません。

ステップ 5 **Next** をクリックします。Templates ページが表示されます。

ステップ 6 Templates ページで次の項目を変更できます。

- Template
- Description
- List of Values

ステップ 7 **Next** をクリックします。Membership: Edit ページが表示されます。グループのメンバを表示できますが、変更することはできません。

ステップ 8 **Next** をクリックします。グループの情報が Summary: Edit ページに表示されます。

ステップ 9 **Finish** をクリックします。

ルールについて

各グループは、ルールのセットによって定義されます。ルールのセットは、個々のルール式をブール形式で組み合わせたものです。

ルールを作成すると、フィルタリングによって、グループに入れたいオブジェクトをグループに含め、グループに入れたくないオブジェクトを除外することができます。グループに含めるオブジェクトを決める場合、Group Management はオブジェクト情報をルールと比較します。オブジェクト情報が、ルールのすべての要件を満たしている場合、そのオブジェクトはそのグループに追加されます。

1 つまたは複数のルール式を適用してルールを作成できます。

各ルール式は、次の要素で構成されます。

<オブジェクトタイプ><変数><演算子><値>

次の例を参考にしてください。

```
:Gatekeeper.Cisco_CallManager_or_Cluster.Name equals "ccm test1"
```

ルールは、Group Creation Wizard の Rules: Create ページで定義します。

次の要素を定義できます。

- OR, AND, EXCLUDE : 論理演算子。このフィールドは、Rule Text ボックスにルール式を追加した後に表示されます。
 - OR : どちらかのルールの要件を満たすデバイスを含みます。
 - AND : 両方のルールの要件を満たすデバイスだけを含みます。



(注) AND 演算子を使用する場合は、ルール式に異なるタイプのデバイスを含めることはできません。たとえば、次のルール式で AND 演算子を使用することはできません。

```
:Gatekeeper
:MediaServer
```

この例では、OR 演算子を使用する必要があります。

- EXCLUDE : これらのデバイスを含みません。
- Object Type : グループの作成に使用するオブジェクトのタイプ。オブジェクトは、すべてのデバイス、グループ、またはデバイスのタイプです。

Object Type フィールドには、次の選択肢が表示されます。

- AccessPort
- Device ほし
- CUE
- DigitalVoiceGateway
- Gatekeeper
- IPCC
- MediaServer
- PhoneAccessSwitch
- VoiceGateway

- VoiceMailGateway
 - Group
 - Interfaces
 - PRPhone
 - SRSTDevice
 - TrunkPort
- Variable : ルールに使用する、選択したオブジェクト タイプのアトリビュート。指定可能な変数のリストは、選択したオブジェクト タイプによって異なります。
 - Operator : ルールに使用する演算子。指定可能な演算子のリストは、選択したオブジェクト タイプと変数によって異なります。



(注) *equals* 演算子を使用する場合、ルールでは大文字と小文字が区別されます。

- Value : ルール式の値。指定可能な値は、選択したオブジェクト タイプ、変数、および演算子によって異なります。選択した演算子に応じて、自由形式のテキストまたは値のリストを指定できます。

デバイス (Object Type)の中には、特定のアトリビュート (Variable) が存在しないために、そのアトリビュートを使用してグループ化できないものもあります。表 16-4 は、そのようなデバイスとアトリビュートを示しています。

表 16-4 デバイス、およびそのデバイスのグループ化に使用できないアトリビュート

デバイス (Object Type)	アトリビュート (Variable)
DigitalVoiceGateway	<ul style="list-style-type: none"> • IP.Address • IP.Name • IP.Netmask • Location • Type • SystemObjectID
右記のアトリビュートを持つ任意のデバイス	<ul style="list-style-type: none"> • VoiceInterface.Type • VoicePort.Type



(注) ルールを定義した後、構文を確認する必要があります。Rules: Create ページで、これを行うことができます。

図 16-6 は、Rules: Create ページの例を示しています。

図 16-6 Rules: Create ページ

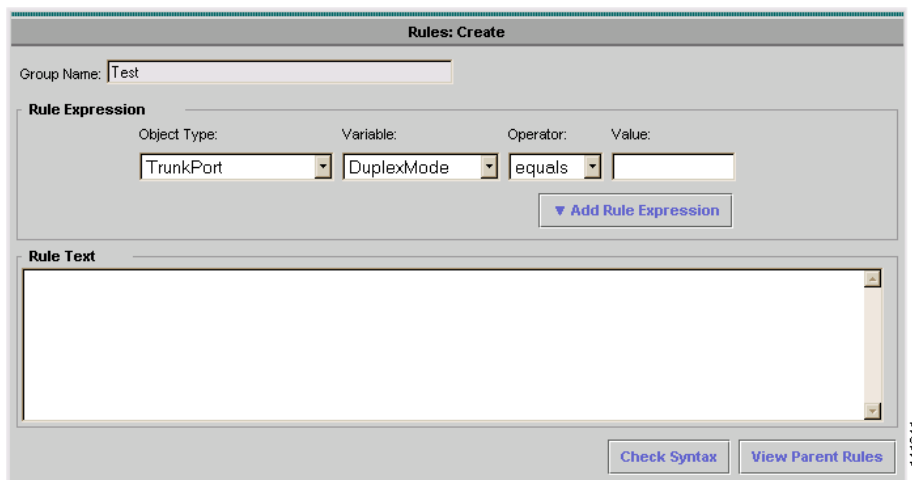



表 16-5 は、Group Creation Wizard の Rules: Create ページのフィールドについて説明しています。

表 16-5 Rules: Create ページのフィールド


フィールド / ボタン	説明
OR, AND, EXCLUDE	論理演算子。 <ul style="list-style-type: none"> OR : どちらかのルールの要件を満たすデバイスを含みます。 AND : 両方のルールの要件を満たすデバイスだけを含みます。 EXCLUDE : これらのデバイスを含みません。 このフィールドは、Rule Text ボックスにルール式を追加した後にだけ表示されます。
Object Type	グループの作成に使用するオブジェクトのタイプ。
Variable	ルールに使用する、選択したオブジェクト タイプの属性。
Operator	ルールに使用する演算子。
Value	ルール式の値。
Add Rule Expression	ルール式をグループ ルールに追加する場合に使用します。
Rule Text	ルールを表示します。
Check Syntax	ルールの構文が正しいかどうか確認します。
View Parent Rules	親グループのルールを表示するために使用します。
	 (注) 親グループのルールはすべてサブグループに適用されます。

Value フィールドに入力する値について

Rules: Create ページの Value フィールドに入力できる値は、ほとんどの場合おのずと明らかですが、Variable フィールド内のオブジェクトによっては、関連するアトリビュートを Value フィールドに入力する方法について、特別な意味や制限がある場合もあります。

表 16-6 は、Rules: Create ページの Variable フィールドに表示されるオブジェクトの中で、詳しい説明が必要なものについて解説しています。

表 16-6 特別な変数の説明

Variable	説明
Cisco_CallManager_Or_Cluster.Name	デバイスが属しているクラスタの名前。クラスタの名前を見つけるには、Group Configuration ページを開き、Cisco_CallManager_Or_Cluster グループを選択します。クラスタ グループ名のリストが表示されます。Rules: Create ページの Value フィールドで、これらの名前を使用します。
Type	Rules: Create ページの Value フィールドで、次のデバイスに対応する値を使用します。 <ul style="list-style-type: none"> • MediaServer : MediaServer • VoiceMailGateway : VoiceMailGateway • PhoneAccessSwitch : SWITCH または ROUTER • VoiceGateway : SWITCH、ROUTER、または VG248 • Gatekeeper : ROUTER、SWITCH • Router : ROUTER • Switch : SWITCH  <p>(注) ルールで <i>equals</i> 演算子を使用する場合は、上記の通りに正確に値を入力してください。</p>
ClassName	Rules: Create ページの Value フィールドで、次のデバイスに対応する値を使用します。 <ul style="list-style-type: none"> • VoiceGateway : VoiceGateway • MediaServer : MediaServer • VoiceMailGateway : VoiceMailGateway

ルールの例

例 1

vegas クラスタ内のすべてのメディア サーバを含むグループを作成する場合は、次のルールを作成します。

```
:MediaServer.Cisco_CallManager_or_Cluster.Name contains "VEGAS"
```

- Object Type : MediaServer
- Variable : Cisco_CallManager_or_Cluster.Name
- Operator : contains
- Value : “VEGAS”

例 2

IP アドレスの中に 172 という数値が入っているすべての音声ゲートウェイを含むグループを作成します。

```
:VoiceGateway.IP.Address contains "172"
```

- Object Type : VoiceGateway
- Variable : IP.Address
- Operator : contains
- Value : "172"

例 3

San Jose ロケーションのすべての電話アクセス スイッチを含むグループを作成します。

```
:PhoneAccessSwitch.Location equals "San Jose"
```

- Object Type : PhoneAccessSwitch
- Variable : Location
- Operator : equals
- Value : "San Jose"

**(注)**

グループ ルールをよく理解するために、システム定義グループに使用されるルールを参照できます。これらのルールは、**Properties: Details** ページに表示されます。**Properties: Details** ページについては、**P.16-28** の「**グループの詳細の表示**」を参照してください。

グループ メンバシップの確定

グループルールを定義すると、そのルールが評価されるようになります。また、グループのメンバを表示できます。さらに、特定のオブジェクトを追加または削除して、グループ メンバシップを変更できます。グループルールは、グループに対して追加または削除したオブジェクトを反映するよう自動的に変更されます。**Create Group Wizard** の **Membership: Create** ページで、グループのメンバシップに対して特定のオブジェクトを追加または削除します。

**(注)**

テンプレートを使用してグループを作成した場合は、メンバシップの詳細の表示だけが可能です。**Membership: Create** ページで、グループのメンバシップに対してオブジェクトを追加することも削除することもできません。

グループの要約の表示

Create Group Wizard では、最後に、新しいグループの定義を示す要約ページが表示されます。図 16-7 は、Summary: Create ページの例を示しています。

図 16-7 Summary: Create ページ

Summary: Create	
Group Name:	Test
Parent Group:	/OM@item-daily/User Defined Groups
Description:	
Membership Update:	Automatic
Rules:	INCLUDELIST { # /CS@item-daily/System Defined Groups/Unknown Device Type Group\$/CS@item-daily/System Defined Groups/Unknown Device Type>, # /CS@item-daily/System Defined Groups/Switches and Hubs Group\$/CS@item-daily/System Defined Groups/Switches and Hubs>, # /CS@item-daily/System Defined Groups/Routers Group\$/CS@item-daily/System Defined Groups/Routers> }
Visibility Scope:	Public

表 16-7 は、Group Creation Wizard の Summary: Create ページのフィールドについて説明しています。

表 16-7 Group Summary ページのフィールド

見出し / ボタン	説明
Group Name	作成しているグループの名前。
Parent Group	作成しているグループの親グループ。
Description	グループのテキスト説明。
Membership Update	グループ メンバシップのアップデート方法。メンバシップ アップデートは自動で実行（グループにアクセスするたびにアップデート）またはユーザの要求時のみ実行（Refresh ボタンのクリック時のみアップデート）することができます。
Rules	グループ メンバシップのフィルタリングに使用されるルール。
Visibility Scope	グループを表示できるのがすべての CiscoWorks ユーザか、作成したユーザだけかを決定する設定。

グループの詳細の表示

グループの情報は、Properties: Details ページに表示されます。


- ステップ 1** **Devices > Device Groups** を選択します。Group Administration and Configuration ページが表示されます。
- ステップ 2** Group Selector で詳細を表示するグループを選択します。
- ステップ 3** **Details** をクリックします。Properties: Details ページが表示されます（図 16-8 を参照してください）。

図 16-8 Properties: Details ページ

Properties: Details	
Group Name:	CallManagers
Parent Group:	/COM@item-daily/System Defined Groups/Cisco IP Telephony Applications
Type:	MediaServer
Description:	Media servers running Cisco CallManager software.
Membership Update:	Automatic
Created By:	System : Wed 09-Nov-2005 13:18:25 PST
Last Modified By:	System : Wed 09-Nov-2005 13:18:25 PST
Rules:	MediaServer.CiscoCallManager.ClassName equals "CiscoCallManager"
Visibility Scope:	Public
<input type="button" value="View Parent Rules"/> <input type="button" value="Membership Details"/> <input type="button" value="Cancel"/>	

表 16-8 は、Properties: Details ページのフィールドについて説明しています。

表 16-8 Properties: Details ページのフィールド

見出し / ボタン	説明
Group Name	表示しているグループの名前。
Parent Group	表示しているグループの親グループ。
Type	グループに属しているオブジェクトのタイプ。
Description	グループのテキスト説明。
Membership Update	グループメンバシップのアップデート方法。メンバシップアップデートは自動で実行（グループにアクセスするたびにアップデート）またはユーザの要求時のみ実行（Refresh ボタンのクリック時のみアップデート）することができます。
Created By	グループの作成者。
Last Modified By	グループを最後に編集した人。
Rules	グループメンバシップのフィルタリングに使用されるルール。
Visibility Scope	グループを表示できるのがすべての CiscoWorks ユーザか、作成したユーザだけかを決定する設定。
View Parent Rules	親グループのルールを表示するために使用します。
	 (注) 親グループのルールはすべてサブグループに適用されます。
Membership Details	メンバシップの詳細を表示する場合に使用します。P.16-30 の「メンバシップの詳細の表示」を参照してください。
Cancel	ページを閉じて、Group Administration and Configuration ページに戻ります。

メンバシップの詳細の表示

Membership: Details ページにアクセスすることにより、グループに属しているオブジェクトのリストを表示できます。

- ステップ 1** Devices > Device Groups を選択します。Group Administration and Configuration ページが表示されます。
- ステップ 2** Group Selector で詳細を表示するグループを選択します。
- ステップ 3** Details をクリックします。Properties: Details ページが表示されます。
- ステップ 4** **Membership Details** をクリックします。Membership: Details ページが表示されます。

図 16-9 は、Membership: Details ページの例を示しています。

図 16-9 Membership: Details ページ



表 16-9 は、Membership: Details ページのフィールドについて説明しています。

表 16-9 Membership: Details ページのフィールド

見出し / ボタン	説明
Name	メンバシップの詳細として表示されているデバイスの名前。
Object Type	詳細として表示されているオブジェクトのタイプ。
Property Details	Properties: Details ページに戻ります。
Cancel	ページを閉じて、Group Administration and Configuration ページに戻ります。

メンバシップのリフレッシュ

グループのメンバシップをリフレッシュすると、グループのルールを再評価して、データ コレクタからメンバシップ情報を取得することにより、グループのメンバシップが強制的に再計算されます。ポート グループとインターフェイス グループはポーリングとしきい値のためだけに使用されるため、これらのグループではメンバシップの一覧表示がサポートされていません。

-
- ステップ 1** **Devices > Device Groups** を選択します。Group Administration and Configuration ページが表示されます。
 - ステップ 2** Group Selector でリフレッシュするグループを選択します。
 - ステップ 3** **Refresh** をクリックします。
 - ステップ 4** 確認のダイアログボックスで **Yes** をクリックします。次のダイアログボックスで **OK** をクリックします。
-

グループの削除

ユーザ定義グループだけを削除できます。これには、作成したアクセス ポート グループ、インターフェイス グループ、またはトランク ポート グループも含まれます。Access Port Groups、Interface Groups、または Trunk Port Groups の各フォルダを削除することはできません。

-
- ステップ 1** **Devices > Device Groups** を選択します。Group Administration and Configuration ページが表示されます。
 - ステップ 2** Group Selector で削除するグループを選択します。
 - ステップ 3** **Delete** をクリックします。
 - ステップ 4** 確認のダイアログボックスで **Yes** をクリックします。次のダイアログボックスで **OK** をクリックします。
-



- (注) Edit、Refresh、または Delete をクリックすると、内部プロセスが起動します。そのため、これらのプロセスがトリガーされた後、一定期間、Operations Manager で CPU 使用率が高くなることがあります。
-

